

箕面って美味しいもの
いっぱいあるよなあ。
箕面が誇るクラフトビールと、
遠方にもファン多数のスパイスの妙。
食欲にも地元愛にも火をつけるのは必然。

箕面が誇るクラフトビールと、
遠方にもファン多数のスパイスの妙。
食欲にも地元愛にも火をつけるのは必然。

箕面が誇るクラフトビールと、
遠方にもファン多数のスパイスの妙。
食欲にも地元愛にも火をつけるのは必然。

北摂スパイス研究所



お食事処 さくらい

酒を誘う一品と、
人情に出会う。

常連客が多い店だからこそ、
こういう時に行ってみよう。



家族で店探し、
探検みたいだ。
いつもの外食も、
今日は趣向を変えて。



やきもん亭

ほろり、じゅわり、料理も
店もいい味で、浸みる。
二品目の注文が二度目の来店か！
考える「もっとここで食べたい」。

名バーテンダーの
技と味を身近に。

シティホテルに行く必要も
大阪市内に出る必要も
なくなりそう。

bar K spirits

自分にぴったりのお店が
地元で見つかるかも

同イベントの参加方法を紹介しよう。
①参加店舗または阪急「箕面駅」にあるガイドブックを手にする。②スペシャルメニューを堪能する。③ガイドブックにスタンプを押してもらい、次の店舗へ。④スタンプがたまったら抽選に参加する。抽選場所は下図「箕面駅エリア」地図の22番と23番との中間地点に設置予定だ。店舗とスペシャルメニューの内容を8ページから掲載しているので参考にしたい。

これまでの開催ではお客さんから「当日気軽に参加できるのが嬉しい」、「一体感があって楽しかった」などの感想があったという。「箕面にはなんにもないと思うけど、こんなお店あったんやなあ」という声も聞きます」と寺内さん。灯台下暗しで、地元のお店は意外に知らないもの。居心地の良いお店が身近に見つかるかもしれない。

お店を回るコツを尋ねてみた。当日は行列のできるお店も多く、どこに行ってもいっぱいということもあるかもしれない。ただ、普段の行列よりは進みが早いので、少し並んだ方がスムーズに入れますよ」と山本さん。お客さんの中には2日間で20店舗を巡る剛の者もいるという。5000円のスペシャルメニューを注文できる時間帯は店舗によって異なるため、ガイドブックのタイムスケジュールを参照するのがおすすめだ。

お腹と心が満足したら
もうひとつのお楽しみ

協賛企業や後援団体も徐々に増えてきた。お店を回った後のお楽しみ、抽選会を運営しているのは「箕面商工会議所青年部」だ。網戸の張替え券やヘアカット券、商店街で使えるクーポンなど、景品は地元の企業や店舗が協賛して提供したものだ。抽選は自由参加だが、たくさん巡るなら挑戦するといいたい。景品はなくなり次第終了となる。青年部の門浦さんは同イベントについて「箕面がもっと大好きになり、もっと盛り上がるイベント。応援していきたいです」と話す。

箕面を元気づけようとお店同士が手を結び、成長を続けている同イベント。実行委員会は将来さらにパワーアップさせるべく構想を膨らませている。今回を逃せば次は来年の3月。秋の訪れを待ちながら、地元のお店に繰り出そう。

阪急箕面3駅
はしご酒 67カ所巡り
9月7日(金)・8日(土)

同イベントが丸かりの
無料ガイドブック！参加
店舗または阪急「箕面駅」
でゲットしよう▶

取材協力
箕面はしご酒実行委員会
問い合わせ／072-724-7111
(中華屋 KurumA)

！ 飲酒は20歳になってから。
！ 飲酒運転は法律で禁止されています。
「阪急箕面3駅はしご酒」はお酒も楽しめるイベントです。地図内に駐車場も記載していますが、移動には公共交通機関のご利用をお勧めします。飲酒後の自転車の運転も飲酒運転となり法律で禁止されています。



巻頭特集 ― 巡って回って、行きつけ“探し”

阪急箕面3駅

はしご酒

これまでに3回開催され大盛況を博した「はしご酒」。

今回からエリアが拡大し、さらに楽しみが広がろうだ。

「箕面はしご酒実行委員会」のメンバーに話を聞いた。

地元の飲食店を堪能
大好評を受けての第4回

居酒屋やバー、料亭、カフェなどの飲食店が参加する「阪急箕面3駅はしご酒」(以下、同イベント)が9月7日・8日の2日間で開催される。1ドリンクと1フードがセットになった各店舗のスペシャルメニューを500円で味わえる街バルイベントだ。注文するとスタンプが1つもらえ、3つで1回抽選に参加できるスタンプリーもある。

「はしご酒」が始まったのは昨年3月。これまでの3回は阪急「箕面駅」周辺の店舗限定だった。第4回となる今回はエリアを阪急「箕面駅」、「牧落駅」、「桜井駅」の3駅周辺に拡大。店舗数も前回の37店から67店へ大幅に増えた。

「最初は数店でも開催できればと周囲への声かけから始めたイベントでしたが、おかげさまで毎回好評です」と話すのは『5+(チンクエビュウ)』店主の寺内さん。『居酒屋まるこん』店主の安達さん。



箕面はしご酒実行委員会
左から「中華屋 KurumA」店主の山本隆祥さん、『5+(チンクエビュウ)』店主の寺内仁さん、『居酒屋まるこん』店主の安達裕充さん。「参加店舗みんなが主催者という気持ちで運営しています」(山本さん)

んとともに「はしご酒」を立案した。実行委員長を務める『中華屋 KurumA』店主の山本さんは「3駅での開催は当初からの目標だった。今回実現できて嬉しいです」と話す。
メニューの一覧にはビール、日本酒、ワイン、カクテルなど各店舗こだわりのドリンクと自慢の一品が並び、これがワンコインかと驚く。「どこもワンコインでできる限りのメニューを出している。地元の良いお店がたくさんあることを知ってほしい」と山本さん。カフェも多数参加しており、お茶やコーヒーなどノンアルコールの飲み物も豊富。家族連れやお酒に弱い人も十分楽しめる。